

平成 25 年度実施 大網白里市住民協働事業 報告書

事業名	住民協働事業運営支援及び協働体験実施事業	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	大網白里まちづくりサポートセンター	地域づくり課

事業費	予算額	決算額	市補助金額（交付確定額）
	477,348円	491,565円	477,000円

【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

- どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、
 ○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、
 ○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

団 体
<p>課題1、「協働」を身近な活動としてとらえられていないので、協働体験の場を作り、理解と認識を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い方向けに、夏休みボランティア体験の場を作り、7団体が受け入れ申し込みをしてくれました。これに対し、体験希望者は少数でした。内1名は3団体に積極的に参加してくれるなど、手応えはありました。また、高齢者の体験の場として、施設等で慰問を行っている団体への体験を広報に掲載したところすぐに申し込みが有り、デイサービスでの体験を行いました。それから、常にまちサポで体験受入の申し込みを受け付けている自然活動団体がありますので、こちらへの体験申し込みも合わせて、満足度は充分にあったと思います。 <p>課題2、中間支援組織として住民協働事業採択団体をまとめ、定例会等を開き事業支援を行い横の繋がりを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始当初、まちサポの事業を中間支援としてという意識が無く、他の団体と同じ立場の事業としか見られていませんでした。これは行政側がきちんと理解していなかった事も理由の一つだと思われます。開始当初は、各団体に対して二カ所から指示が出ているような状況でしたので、そう思われても仕方の無いことだと判断します。定例会など、回を重ねるごとに意見交換も活発に行われるようになり、事業支援としての重要な役割を果たせたと思います。

【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・協働体験の企画、実行、アンケート実施 ・キックオフ開催、周知 ・ホームページ開設、更新 ・広報活動（新聞折り込み、各新聞社へ連絡、ポスター・チラシ作製） ・定例会の開催、進行 ・活動報告展開催 ・産業文化祭に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報紙、ホームページへ企画掲載。 ・会場手配、会場使用料の減免。 ・公共施設へのチラシ、ポスターの設置。 ・定例会、会議、産業文化祭への参加。 ・キックオフイベントへの協力、参加。

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<p>☑ 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった （理由） 多くの点で良かったと思いますが、定例会など、地域づくり課の担当職員だけでなく、課長などにも関わってもらえるように促せると、尚良かったかなと感じています。</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった （理由） 事業開始前に役割分担について団体と協議し、概ねその通りの役割で実施することができた。</p>

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
キックオフ開催、新聞折り込み広告 協働体験受入団体の募集、 協働体験の実行 定例会開催（7回） 応募団体連携会議（2回） 中間報告会（プレゼン） 終了報告会（写真展・プレゼン） 体験受入団体活動報告展	キックオフ開催、新聞折り込み広告 協働体験受入団体 8団体 協働体験実行団体 4団体 定例会開催（7回） 応募団体連携会議（2回） 協働のまちづくり講座開講 中間報告会（産業文化祭に参加） 終了報告会（体験受入団体報告含む）

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった （理由） 若い世代向けに夏休み中の企画を立てたのですが、協働体験の受入を名乗り出てくれた団体に対して、こちらの想定より希望者が少なかったことは残念な結果でした。後で、大網高校の生徒さんから、ポスターは見たがチラシは配られなかったと知り、もう少し大網高校の先生方と意思疎通のための交流を行う必要があったと思いました。それから、体験受入団体の方に記録写真を残すようにはっきりと伝わらなかったことが残念なところ。皆さん忙しいと写真まで手が回らないでいるのが現状だと知り、こちらから出向いて写真を撮れば良かったと思いました。他の事業は計画通りに運びました。

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

団 体

高校生向けに夏休みのボランティア体験の実施、産業文化祭への参加、市役所ロビーでの活動報告展など、各団体が活動を見直せるチャンスを作る事が出来、活動の活性化・スキルアップに繋がったと思われます。特に市役所ロビーでの展示や産業文化祭への参加は、住民協働事業に興味の無い方、事業を行っていることを知らない方にも見ていただく事が出来、非常に良かったと思います。市役所ロビーは場所的に非常に良いところなので、来年度の展示については、こちらが主催ではありませんが、継続していただけると良いと思いました。またボランティア体験活動については、若い世代に市民活動を広める良い機会を作る事が出来ました。この活動は、大網高校と密に連絡をとりながら、来年度も引き続き行いたいと思っています。

次に、住民協働事業の運営支援という事で毎月行った定例会においても、事業の効率を上げることが出来たと思われます。毎月の活動報告に対して、みんなでアドバイスしたり活動のヒントをもらえたりと各団体が何らかの刺激を受け、悩み事の相談も行え、その後の活動に影響を与える事が出来たと思います。団体相互の連携も充分にとれ、協働についての考え方を深めることが出来たと同時に、中間支援組織としてのまちサポの立場にも理解を示していただき、認知度も上がりました。今年度の採択団体との連携組織をこのまま解散するのはもったいないと考え、今後も協議会として、協働のまちづくりに役立てられるような円卓会議の場を継続していくことを定例会の中で提案しました。26年度採択団体の方にも加わっていただき、組織を広げていこうと考えています。

また、その結果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体

- 強化、活性化した
- 概ね強化、活性化した
- あまり強化、活性化しなかった

(理由)

全て、良い方向に働いたと感じています。まず、協働体験については、高校との連携という課題がありますが、おおむね理解されたと感じています。ホームページ等で調べて参加してくれた学生も有り、若い世代の認知度も上がりました。また、団体相互の連携、まちサポの立場としての理解度など深められました。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団 体

関係課との話し合いをもっと多く持てると良かったと思います。もっと課題の共有が図れ行政サービスの充実に繋がったと思われるからです。

今後の課題としては「協働」を理解できる職員の育成です。それぞれの団体の関係課でも、開始当初、協働を理解されていない職員が目立ちました。この問題を解決出来ると、行政提案の課題が見えてくるはずで

市（関係課）

・中間支援組織であるまちづくりサポートセンターが、採択事業の進捗状況の確認や相談に対する助言、支援等を行うコーディネーターの役割を担うとともに、採択団体同士の連携を図ることを目的に、毎月1回、採択団体が集まる定例会を開催した。しかし、採択団体からは、「自分たちの事業計画を立てるうえでも、このような定例会が開催されることを知っておきたかった。住民協働事業の採択団体として同じ立場にあるはずなのに、なぜ毎月会議を開き、事業経過報告をしなければならないのか。」という意見もあったことから、いつ、何のために、どのような方法で定例会を開催するのか、定例会に参加することで団体にどのようなメリットがあるのか等の事前説明を丁寧に行い、定例会の趣旨について共通認識を図ることが必要であった。

・4月に実施した住民協働事業キックオフイベントは、住民協働事業の初年度として、各団体の事業を広く住民へ周知する有効な機会であった。しかし、当日は各団体の事業説明、シンセサイザーの演奏、講演会と内容が多くかつリハーサル不足により、全体の時間配分に遅れが生じてしまった。このキックオフイベントでは、何を最も住民に知らせたいのか、開催目的を明確にしたうえで、企画内容を絞って実施したほうがよかったのではないかと考える。

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<p> <input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 協働を実施出来た課については、少なくとも担当職員には協働を理解してもらえたと思いますが、全職員数からしたら、数%のことであったでしょう。 </p>	<p> <input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 採択団体同士の意見交換の場として定例会を開催することは有意義であった。 </p>